

# わが街で暮らす

諏訪市地域医療・介護連携推進センター

ライフドアすわの取り組み

49

住み慣れた地域で人生の最後まで暮らし続けるためには、健康でいられること共に、納得した人生の最期を迎えられることが大切です。

「人生会議」とは、「将来自分で意思を伝えられない場合に備え、今後の治療・ケアなどについて関係者と繰り返し話し合うプロセス」です。

内容や意義については、このコラムの40号、43号、44号、45号で分かりやすく書いていただきました。(ライフドアすわホームページの『情報

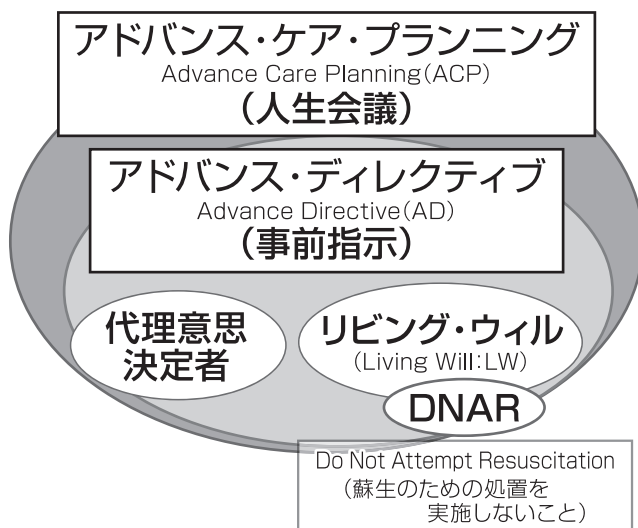


かに え ゆみ こ  
蟹江 弓子

諏訪市地域医療・介護連携推進センター  
副センター長 医療介護コーディネーター

## 「人生会議」ACPとは⑤ 今後の取り組み

### 医療の意思決定に関する枠組み



阿部泰之:「コミュニケーションと意思決定支援」資料より改変、あさひかわ緩和ケア講座

ます。そのほかにも、いろいろな方法で情報を発信しています。病院との連携で、「ライフドアすわ」では、主として元気なうちからの「人生会議」の普及・啓発を行うこと

になりました。今年の2月28日には、「人生会議」をテーマに多職種で地域ケア会議を実施します。医師による「人生会議」の講義と、「もしバナゲーム」も

な記録をして関係者と共有すれば良いかについても検討していきます。

「人生会議」を始めませんか。ご自分だけでなく関係者の安心にもつながると思います。

「人生会議」の取組みや、課題を共有できればと思います。

高齢者世帯や一人暮らしの方が増えています。今までは家族が担ってきた本人ならではの「人生会議」への理解を深めていきます。そして、地域の団体の方、当事者の方などに協力をお願いし、一緒に考えて行く輪を広げたいと思います。そのために、「人生会議」で話し合う視点や、きっかけ、方法などを討議していきます。更に、どのような記録をして関係者と共有すれば良いかについても検討していきます。

(毎月第2日曜日掲載)